

研究機関名：東北大学

1.受付番号	2019-001
2.研究課題名	嗅覚を中心とする多感覚情報統合の脳機構
3.研究期間	令和2年8月（倫理委員会承認後）～ 令和2年3月31日
4.研究の概要	<p>意義・目的（研究の背景・目的や倫理的項目についての的確に記すこと。）</p> <p>本研究は嗅覚と視覚の相互作用に関する脳機能を行動実験と近赤外光を用いた光トポグラフィ（NIRS）による非侵襲脳機能計測から明らかにする。特に、本研究は嗅覚を単独の感覚として研究するのではなく、他の感覚との統合を前提とする外界知覚の中心として設定するという独創的な観点から、嗅覚の認知メカニズムを解明する。具体的には提案者の立案した実験プロトコルに基づいて、近赤外光イメージング装置（NIRS: Shimadzu FOIRE-3000）を脳活動計測に用い、視覚および嗅覚刺激を認識しているときの脳活動（前頭前野）を計測する。</p> <p>方法（研究に必要な対象者人数、年齢構成、性別、および対象者を選ぶ方針・基準も記すこと）</p> <p>東北大学の大学生・大学院生女性 50 名を予定し、口頭による募集を行う。NIRS 測定に関する論文では 1 群 10 例程度の実施例が多いが、本研究では、ばらつきを踏まえ統計学的検定に必要な数を設定した。視覚、聴覚、嗅覚について障害がある場合、実験対象者とはしない。</p> <p>用いる刺激は日常生活で触れるものであるが、不快感などが生じた場合には実験をすぐに中断する。実験には 1 時間～1.5 時間を要するが、実際の計測時間は 30 分以内である。実験参加にあたる謝礼は 1000 円の図書カードとする。</p> <p>問い合わせ・苦情等の窓口（講座・研究室の連絡先を記入し、研究者の個人名は記入しないこと）</p> <p>文学研究科心理学研究室（022-795-6048） 東北大学川内南地区「人を対象とした医学系研究」倫理審査委員会事務局（022-795-6103；sed-syom@grp.tohoku.ac.jp）</p>

（紙面が不足するときには、罫線の縦幅を任意に増やし、次頁送りにしてください。）